



2021年12月9日

各 位

会 社 名 株式会社アルプス技研
代 表 者 名 代表取締役社長 今村 篤
(コード番号:4641 東証第一部)
問 合 せ 先 専務取締役経営企画部長 渡邊 信之
(TEL. 042-774-3333)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要のお知らせ

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

当社は、全ての取締役及び監査役に対し、取締役会の実効性に関して、段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、全員の回答結果の集計・評価を実施いたしました。

質問票における大項目は、以下のとおりであります。

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 取締役会の構成 | (3) 取締役会の実効性 |
| (2) 取締役会の運営 | (4) 社外役員に対する情報提供 |

2. 評価結果の概要

当社の取締役会は、取締役会の構成、運営、役割・責務、社外役員に対する情報提供について、概ね機能しており、取締役の業務執行の監督を行うための体制が整備されていることを確認いたしました。

なお、今後の主な課題は以下のとおりであると認識を共有いたしました。

- (1) 取締役会の規模・構成の定期的な検証
- (2) 社外取締役の多様性確保、硬直化の防止策の検討
- (3) 自社のサステナビリティへの具体的な取組み方の検討

3. 今後の主な取組み

当社取締役会は、今回の評価結果に基づき十分な議論を重ね、課題を解決することにより取締役会の実効性を高め、更なる企業価値向上に努めてまいります。

- (1) 取締役会の規模・構成の定期的な検証
 - ① グループの成長に伴い、取締役員数、社外取締役員数、多様性の確保などを定期的に検証
 - ② 検証結果を指名・報酬委員会にて審議し、取締役会へ報告すると共に、取締役の選定に反映
- (2) 社外取締役の多様性確保、硬直化の防止策の検討
 - ① 取締役のスキル・マトリックスを参照し、事業の拡大に合わせ必要となる要件を定期的に検証
 - ② 検証結果を踏まえ、多様性の確保に向けて専門的な経験・知識を有する人材の参画を検討
- (3) 自社のサステナビリティへの具体的な取組み方の検討
 - ① サステナビリティ基本方針を踏まえ、サステナビリティ委員会により検討
 - ② ホームページ、コーポレート・ガバナンスの報告などを通じて、適時適切に開示

以上